

ないすまし詐欺被害認知状況等について

【福島県内 令和元年中】

福島県警察本部
生活安全企画課

被害認知状況

104件、1億7,496万円(前年比 - 1件、- 258万円)

	令和元年		平成30年		比較増減	
	件数	被害金額	件数	被害金額	件数	被害金額
ないすまし詐欺	104	17,496万円	105	17,754万円	-1	-258万円
詐欺・恐喝	80	13,841万円	99	16,203万円	-19	-2,362万円
主要手口	74	11,234万円	97	16,034万円	-23	-4,800万円
オレオレ詐欺	37	4,736万円	43	7,644万円	-6	-2,908万円
(カード手交型・払出盗)	(28)	(3,059万円)	(13)	(1,512万円)	(+15)	(+1,547万円)
架空請求詐欺	22	4,266万円	42	6,673万円	-20	-2,407万円
融資保証金詐欺	2	213万円	7	923万円	-5	-710万円
還付金等詐欺	13	2,019万円	5	794万円	+8	+1,225万円
その他の手口	6	2,607万円	2	169万円	+4	+2,438万円
金融商品等取引	2	1,550万円			+2	+1,550万円
ギャンブル必勝情報提供等	1	82万円			+1	+82万円
異性との交際あっせん			2	169万円	-2	-169万円
その他	3	975万円			+3	+975万円
キャッシュカード詐欺盗	24	3,655万円	6	1,551万円	+18	+2,104万円

※ オレオレ詐欺(カード手交型・払出盗)・・・被害者をだましてカードを交付させる手口

※ キャッシュカード詐欺盗・・・被害者の隙を見てカードを窃取する手口



【令和元年中の特徴】

手口別

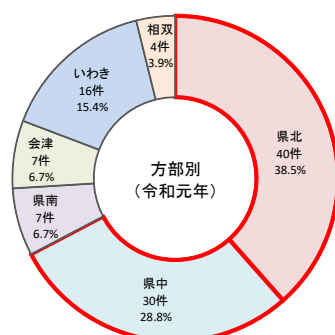
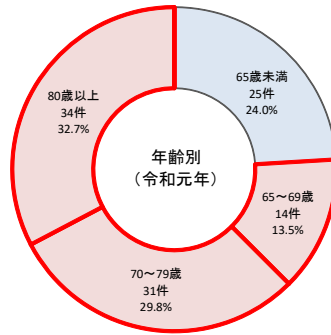
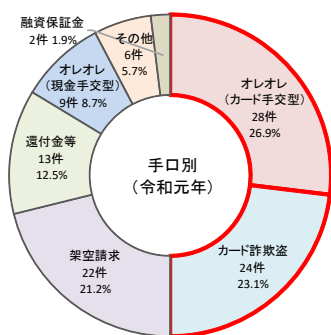
- カード手交型及びカード詐欺盗が被害全体の50%(104件中52件)

年齢別

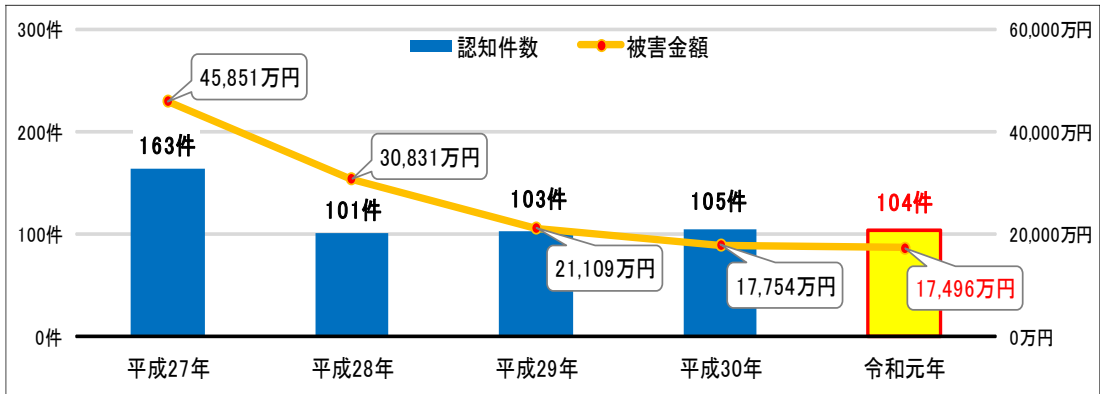
- 高齢者(65歳以上)被害の割合が76%(104件中79件)
- オレオレ詐欺の被害は高齢者が約97%(37件中36件)
- 還付金等詐欺の被害者は全て60歳代

方部別

- 県北・県中方部で多発(県北40件、県中30件)



年別推移



○ 認知件数：平成28年以降、横ばいで推移

金融機関等による未然防止

41件、2,340万円 (前年比 -32件、-1億1,446万円)

	令和元年		平成30年		比較増減	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
未然防止	41	2,340万円	73	13,786万円	-32	-11,446万円
金融機関	14	1,597万円	41	12,252万円	-27	-10,655万円
コンビニ	15	273万円	15	246万円	±0	+27万円
その他	12	470万円	17	1,288万円	-5	-818万円

○ 金融機関による未然防止が大幅に減少 → 犯行手口の変遷が要因
(金融機関での原資調達が不要なキャッシュカード手交型・詐欺盗が増加)

予兆情報

3,823件 (前年比 +130件)

	令和元年	平成30年	比較増減
予兆情報	3,823件	3,693件	+130件
オレオレ詐欺	1,099件	735件	+364件
息子等かたり電話	121件	357件	-236件
警察官等かたり電話	978件	378件	+600件
架空請求詐欺	2,526件	2,883件	-357件
サイト料金請求等	メール	837件	-464件
	はがき	2,070件	+60件
名義貸し電話	4件	20件	-16件
その他電話	79件	16件	+63件
融資保証金詐欺FAX	3件	2件	+1件
還付金等詐欺電話	195件	73件	+122件

○ 警察官かたりの予兆が大幅に増加 (978件、前年比+600件)
→ キャッシュカード手交型・詐欺盗につながる予兆の増加

被害防止及び被疑者検挙に向け、今年もネットワークやモデル地区を中心とした広報啓発等をよろしく
お願いするござる！



カクニンジャー福くん